



No.90
2026
3.4月号

発行：松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

包括だより

松山市認知症地域支援・ケア向上事業 映画上映会

2月11日、石井支所大会議室で認知症への理解を深めることを目的に『オレンジ・ランプ』の映画上映会を開催。地域住民や民生児童委員、施設職員やケアマネジャーなど約90人が参加。認知症の当事者や家族の思いを描いた作品を鑑賞し、認知症を自分事として考える機会となりました。会場では笑顔あり涙ありの温かい雰囲気、参加者からは、「大変良い映画で、参加してよかった」「地域で支え合う大切さを感じた」といった感想がありました。当センターでは、認知症は誰にとっても身近なことであり、今後も学びの場を設け、地域全体で支え合える体制づくりにつなげていきたいと思ひます。（浅香）



たくさんの方にご参加いただきました



認知症を自分事として考える時間となりました



上映後に記念撮影

認知症カフェ ～Café かがやき～

12月15日、久谷地区にあるグループホームかがやきの1階ホールで、チームオレンジの立ち上げを目指し『認知症カフェ café かがやき』を開催。今回が初回であったことから、グループホームの職員にチームオレンジへの理解を深めてもらうことが目的でした。入所者の笑顔がたくさん見られるなどとても和やかな雰囲気で、「楽しかった」などの感想がありました。職員からも「とても良かった。これから定期的開催したい」と、前向きな意見がありました。令和8年度中に立ち上げができるようにサポートしていきます。（篠原）



皆さんで楽しく音楽に合わせて歌いました

令和7年度 和泉南町内会 認知症徘徊高齢者声かけ訓練

2月15日、和泉南の住民を対象に、認知症徘徊高齢者声かけ訓練を実施。当センター職員は「長男の妻が洗濯物を干している間に、おじいちゃんがいなくなった」という設定で寸劇を行いました。このあと、実際に町内を徘徊役の高齢者が歩き、地域住民が声をかける訓練も実施。地域住民からは「声をかける時に恥ずかしい気持ちもあったが、実践する機会があり、やって良かった。これからは困っている人がいたら、すすんで声をかけていきたい」等の感想がありました。認知症について正しく知り、認知症になっても地域で安心して暮らしていけるよう、今後も訓練への参加、啓発活動を行っていきます。（奥）



勇気を出して声かけをしました

古川長寿会 認知症講話

2月2日、古川ふれあいセンターで古川長寿会の31人を対象に、当センターの職員が認知症に関する講話を実施。「松山市版認知症ケアパスまつやまオレンジぶっく」を活用し、認知症の症状やそのサポート方法、病院受診のタイミング、予防等を説明しました。参加者とともに学び、理解を深める機会となりました。（好光）



認知症についての知識をより深めることができました

石井北小学校 ＝認知症サポーター養成講座＝

1月20日、石井北小学校の4年生を対象に、認知症キッズサポーター養成講座を開催。認知症の講座や寸劇、声かけ体験を行いました。声かけ体験では、民生児童委員や地域住民が高齢者役になり、児童たちは緊張しながらも、習ったことを活かしながら声かけをしました。児童から「認知症の正しい知識を得られてよかった」「認知症の人を見かけたら優しく接したい」等の感想がありました。

（岩崎）



緊張しながらも一生懸命声かけをしました

＝福祉体験学習＝

2月2日、石井北小学校の4年生を対象に、高齢者福祉体験学習を実施。高齢者の心身の変化について学んだ後、身体に重りをつけての階段昇降や、手袋を着用して書字や花紙を作ったりするなど、高齢者の疑似体験を行いました。体験中には「腰が痛い」と思わず声が出たり、階段では介助者として自然に腰のあたりに手を添えて見守る場面もありました。今回学んだ高齢者への関わり方を今後の生活でも生かしてほしいと思います。（和田）



積極的にいろいろ体験しました

天山ふれあいいきいきサロン

1月13日、天山ふれあいいきいきサロンの参加者を対象に消費生活講座を開催。消費生活普及啓発団体松山消費者あど坊グループが、消費生活トラブルを実演。詐欺被害に遭わないように啓発活動の一環として実施しており、特殊詐欺被害を減らせるよう活動を今後も続けていきたいと思います。(坂本)



不安な時には相談しましょう

いあいふれあいサロン

1月20日、いあいふれあいサロンで松山市消費生活講座を開催。消費生活普及啓発団体松山消費者四つ葉グループによる振り込め詐欺と還付金詐欺の寸劇のほか、松山市消費生活センターより消費者被害の最新の詐欺手口とその対策、相談窓口等について学ぶことができました。(江原)



皆で気をつけていきましょう

北井門「ひきこもり」講話

2月13日、北井門町地区社会福祉協議会協力会員研修会から依頼があり、松山市障がい者南部地域相談支援センターの藤本篤センター長を講師に迎え「ひきこもり」の講義を開催。当センターは高齢者の相談窓口ですが8050問題などの相談もあり、他機関と連携を図ることが増えています。ひきこもりは背景や期間の長さがそれぞれ違い、すぐに支援に繋がらないことも多く、焦らず伴走して支援していくことが大切と学びました。今後に活かし、連携を深めていきます。(二宮)



ひきこもりの人へのサポートなど学びました

家族介護教室

=星岡=

1月7日、星岡集会所で家族介護教室を開催。高齢者の栄養についての講義と、血管年齢測定を行いました。参加者からは「食生活を見直す機会ができた」「規則正しい生活の重要性を改めて学んだ」などの感想がありました。今回学んだことを今後の食生活に活かしてもらえればと思います。(渡部)



日々食事を意識しましょう

=一の宮団地=

1月27日、一の宮団地集会所で家族介護教室を開催。講師にアトム商事の河野博紀氏をお招きし、「福祉用具について」をテーマに、福祉用具の種類や、使用方法などを説明していただきました。このあと、実際に歩行器など福祉用具に触れて使ってみる体験会も実施。参加者からは「福祉用具を使ってみることができて、良かった。今後の参考にしたい」などの感想がありました。(谷本)



とても参考になりました

=森松団地=

2月5日、森松団地集会所で家族介護教室を開催。株式会社ハッピーファーマシーの中村千夏管理栄養士を講師にお招きし、「フレイル予防の為のお食事」をテーマに、普段の食事に必要な栄養素などを説明していただきました。また、血管年齢測定も実施。参加者からは「食事のバランスやたんぱく質が重要だと分かった」などの感想がありました。毎日の食事に一品にたんぱく質を含むものを加えていきましょう。(東)



これからも健康に気をつけながら過ごしていきましょう

アトムグループ見学会

1月22日に石井東地区、30日に石井西地区それぞれの民生児童委員が、アトムグループのリハビリや歯科、緊急通報等の事業の見学会に参加。その中でも、天山病院が導入しているロボットスーツは大変好評でした。脳から流れる「身体を動かしたい」という信号をセンサーが検出。その意思に従った動作をサポートし、本人が「動いた」という感覚を得ることで、機能回復を図ることができます。医療技術の進歩に、参加者は驚いていました。今後も、社会資源として地域にある介護施設等について、知ってもらえる機会を設けていこうと考えています。（高須賀）



地域にある社会資源について知ることができました



リハビリの機械を実際に体験しました

令和7年度 第2回 事例検討会

1月21日、地域包括支援センター石井・浮穴・久谷エリアの介護支援専門員を対象に、今年度2回目の事例検討会を実施。司会進行には、地域の主任介護支援専門員の協力を得て行いました。今回は、居宅介護支援事業所における事例で「記憶力の低下が著しく自己主張が強く、他人の援助の受け入れが難しい方に対する援助方法」をテーマに、どのような支援が望ましいかという内容の事例検討でした。参加者は様々な意見を出し合うことで、新たな気づきが得られたようです。今後も定期的に事例検討会を開催し、質の高いケアマネジメントの実践につなげていきたいと思ひます。（大北）



今後も継続していきます

編集後記



わが家では、トカゲとカナヘビを屋外で飼育しています。冬の間はどちらも冬眠し姿を見ることはありませんでした。しかし先日、久しぶりに目を覚まして元気に動いている姿を見ることができ、春の訪れを感じました。まだ朝晩は冷え込みますが、皆さま体調には十分気をつけてお過ごしください。（杉本）

松山市地域包括支援センター

石井・浮穴・久谷

松山市東石井7丁目3番32号

TEL : 089-957-0808

松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

サブセンター浮穴・久谷

松山市東方町甲1272番地1

TEL : 089-905-8889